

北Qみらい NO.49

通巻第91号



【発行】

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

【連絡先】

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
soft@kita9-s.com

新年のあいさつ



謹賀新年

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました
本年が素晴らしい一年でありますよう心よりお祈り申し上げます

【職員一同】



令和8年（2026年）の目標を職員がキャッチコピー風に表しました！

身体をいたわり、こころを満たす新年
【藤岡】



孫の成長を見守る喜び 【永手】

殻を破り、新たな自分を 【岩崎】



自然の多いところで肺を鍛える！
【森】

推し活♡復活(o^ー^o)ニコ 【門田】

専任通訳から専業主婦までもう1歩
【安藤】

言われたい「すごい！お父さん」
【室元】

家族サービスも全力疾走、陸上も全力
疾走。休むのはゴール後だけ 【細江】

歩みは小さく、前進は大きく 【塚本】



減らします！体重・不用品・
断捨離だ～！ 【奥森】

先手を打つ 【早田】

ピントを外さない！！ 【川宿田】

脱、大雑把！目指せ、丁寧な
生活！！ 【柳井】

予告1:講演会『デフリンピック選手が語る感動をもう一度』開催

皆さんは「デフリンピック」をご存でしょうか?「デフリンピック」は、聴覚障害者のための国際スポーツ大会です。

今回、デフ日本代表として活躍したバスケットボール選手3名、ハンドボール選手1名を講師に迎え、講演会を開催します。

世界の舞台で戦った経験、仲間との絆、そしてデフスポーツならではの魅力を語っていただきます。トップアスリートたちの生の声を通して、スポーツの力を一緒に感じてみませんか。ぜひ、ご参加ください。

○講 師:

デフハンドボール日本代表 岩崎 先育(いわさき さきなり)氏
デフバスケットボール日本代表

羽田 まりな(はだ まりな)氏 藤田 彩音(ふじた あやね)氏
沼口 紗也(ぬまぐち さや)氏

○日 時:令和8年1月31日(土) 13:30~15:30

○会 場:北九州市立西部障害者福祉会館 501~503会議室

○定 員:60名(先着順)

○申込み方法:来館、TEL、FAX、QRコード

○申込み・問合せ先:北九州市立聴覚障害者情報センター

TEL 093-645-1216 FAX 093-645-3335 申込み用QRコード

2025 聴覚障害者(者)のための
コミュニケーションワークショップ

参加費無料

**デフリンピック選手が語る
感動をもう一度**

「デフリンピック」は、聴覚障害者のための国際スポーツ大会です。世界中のトップアスリートが集う舞台です。今年開催された「東京2025デフリンピック」でデフ日本代表として活躍された選手4名を講師に迎え、講演会を開催します。世界の舞台で戦った経験、仲間との絆、そしてデフスポーツならではの魅力を語っていただきます。トップアスリートたちの生の声を通して、スポーツの力を一緒に感じてみませんか。

【講師】
デフハンドボール日本代表 岩崎先育
デフバスケットボール日本代表 羽田まりな・藤田彩音・沼口紗也

日時 令和8年1月31日(土)
13:30~15:30(受付13:00~)

会場 北九州市立西部障害者福祉会館 501~503会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 コムシティ5F

対象 定員60名(先着順)
どなたでもご参加いただけます。
※オンラインでの受講はありません。

TEL 093-645-1216 北九州市立聴覚障害者情報センター
FAX 093-645-3335 北九州市立聴覚障害者情報センター
http://www.kfap.jp/



お待ちしております!

報告1:デフリンピックに行ってきました!

当センター職員の細江です。福岡から飛行機で東京へ、三泊四日の東京2025デフリンピック観戦に行ってきました。会場では世界中の選手たちがバレーボールや陸上競技などで全力を尽くしていて、私も思わず応援の手拍子に力が入りすぎ、翌日筋肉痛になる始末。特に男子100メートル決勝は圧巻でした。スタートの瞬間には私も一緒に走り出しそうになり、ゴールの瞬間には「よし、明日からダッシュで出勤しよう!」と心に誓ったものの、現実にはエレベーターに乗るだけでした。日本人選手が見事3着に入り、銅メダルを獲得!会場は大歓声、私は全力で“やったー!”ポーズを決め、これまでで一番熱く応援した瞬間でした。耳が聞こえないハンディを抱えながらも仲間と挑戦する姿は、本当に勇気をくれるものです。スポーツは音を超えて心を震わせる力があると実感しました。帰りの飛行機では「デフリンピックの面白さをもっと広めて知名度を上げていこう!」と強く誓いました。次の開催地はギリシャとのこと。今から貯金をスタートです(笑)。



東京2025デフリンピック 日本選手メダル獲得数 金:16個 銀:12個 銅:23個

予告2：情報提供事業「ヒートショックとその予防について」

今年も情報提供を行います。暖かい部屋から寒い部屋に移動しただけで倒れてしまう？ヒートショックと予防について講師をお呼びしてお話していただきます。

○日時：令和8年2月20日（金） 14：00～15：30

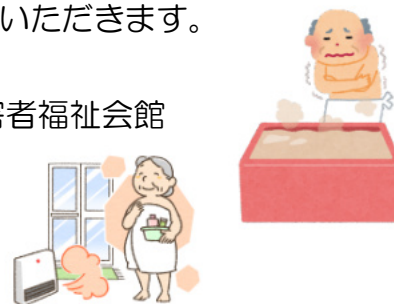
○講師：宗 宏伸（そう ひろのぶ）氏 ○会場：東部障害者福祉会館

○対象者：北九州市にお住まいの聴覚障害者

○申込み・問合せ先：北九州市立聴覚障害者情報センター

TEL 093-645-1216

FAX 093-645-3335

**報告2：聴覚障害者情報センターのつどい**

8月17日（日）に「聴覚障害者情報センターのつどい」を開催しました。お盆時期ではありましたが、当日は約120名の方々に足を運んでいただきました。

今回は、デフリンピックを紹介するブースやクイズがありました。子ども限定でクイズに正解すると金メダルをプレゼントしました。また、選手に向けたメッセージを参加者に書いてもらい、後日、選手の皆さんに見てもらいました。当日は、字幕ボランティア『クレヨン』、ろう高齢者の豊かな生活を支える会『陽だまり』、盲ろう者支援サークル『ひまわり』に協力をいただきました。



《選手へのメッセージ》

内容は字幕制作体験、ミニ扇子の作成、点字で自分の名前を打つなどのブースです。どのブースも盛況で待機する列が出来ていました。その他に、『聾鼓会』の太鼓演奏の映像を流し、迫力ある演奏をお楽しみいただきました。

改めて、ご来場ありがとうございました。次回もまた遊びに来てください！

報告3：第17回聴覚障害者支援セミナー

手話ボランティアの高齢化、空洞化により講座受講後に継続するボランティアが少ないとの声を元に、今回は「聴覚障害者を支えるボランティアの役割」をテーマに開催しました。講師は、長崎県聴覚障害者情報センター施設長で、手話通訳士の西川 研（にしかわ けん）氏。参加者はサークルや講座受講生、ろう者、難聴者等の計55名でした。ボランティアや手話通訳とは何かについて話され、後半は日本における手話通訳論の形成、手話サークル「みみずく」

結成から手話施策推進法までの話、又手話通訳者に求められる技術・能力についても講演されました。最後にギター演奏で「青空」「にじ」の歌を全員で手話で表し、和やかな時間を過ごしました。アンケートでは「サークルの一人として、人権を守っていくことを忘れずにいたい」等の感想をいただきました。

講師の西川氏、ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



情報1: あなたの毎日に役立つ文字起こしツール

近年、AIを活用したコミュニケーション支援ツールが普及し、スマホやPCから手軽に利用できるようになりました。ここでは代表的な文字起こしツールをいくつかご紹介します。

**文字起こしツール比較表**

ツール名	料 金	強 み
UDトーク	基本無料 (一部有料機能あり)	リアルタイムの文字起こしができ、イベントや学校で活用。多言語翻訳や漢字・ひらがな調整が可能。
SpeechCanvas (スピーチキャンバス)	個人利用無料 (法人版は3万円～)	ふりがな付き文字化+指で文字や絵を描いて会話可能。オフラインでも利用可。公共機関や接客などで活用。(西部障害者福祉会館、区役所一部窓口で使用)
YY文字起こし/ YYProbe	無料版あり (法人向けは有料)	笑い声や拍手も認識。多言語対応。オフライン利用可。イベントや国際交流などで活用。

他、iPhoneやAndroidの標準音声入力ツールは無料で使えます。

文字起こしツールは「聞こえないから参加できない」を「文字があるから参加できる」へと変えてくれます。日常生活から仕事、学びの場まで、あなたのコミュニケーションを広げる心強い相棒として、ご自身に合ったツールを活用してみてもいいでしょうか。

報告4: 派遣事業の件数 (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆者)**専任手話通訳者**

	個人	団体	計
10月	206	10	216
11月	154	12	166
12月	202	6	208
総計	562	28	590

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
10月	7	7	14
11月	10	1	11
12月	6	1	7
総計	23	9	32

要約筆者

	個人	団体	計
10月	4	4	8
11月	14	3	17
12月	8	3	11
総計	26	10	36

編集後記

2月15日(日)に開催される「北九州マラソン」。約1万2千人のランナーが、走ります。実は私も昨年、初の北九州マラソンを完走し、今年も走る予定です! マラソンは、障害のある方も参加され、手話通訳者も配置されています。障害あるなし関わらず共に走り、沿道の方の応援に勇気をもらい、完走した際には、今までにない感動を味わいました。デフリンピックでも、選手の多くの皆さんが、「応援が力になる」と言われていたのは誇張ではないと、走った経験から感じます。ぜひ、沿道やご自宅からランナーにエールを送って下さいね!

**貸出の件数**

	貸出人数	貸出本数
10月	9	22
11月	7	15
12月	10	25
総計	26	62